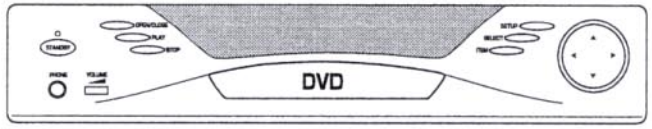
取扱説明書

DVD-838

DVD プレイヤー

CD, VCD, SVCD, MP3CD
COMPATIBLE



2000 COPYRIGHT DVDNOW Inc.

安全上のご注意

⚠ 警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと
火災や人身事故になることがあります。

この説明書および製品表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は以下の様になっています。
内容を十分にご理解のうえ本文をお読みください。

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定されている内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の例

△記号は注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

この記号は禁止の行為であることを告げるものです。

この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な内容(左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

⚠ 警告

■故障したままの使用はしない

●万一煙が出ている変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災、感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ずプラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。　お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

■中に水や異物が入っ たら

●万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。　そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

■落としたり破損した状態で使用しない

■電源コードの注意

●電源プラグの端子および端子付近にほこりや金属物が付着している場合には、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

■電源コードを傷つけたり、加工しない

禁止

●電源コードが痛んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります
●電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。また、電源コードが引張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災、感電の原因となります。コードの上を敷物で覆う事により、それに気付かず、重いものをのせてしまう事があります電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。また、電源コードが引張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災、感電の原因となります。コードの上を敷物で覆う事により、それに気付かず、重いものをのせてしまう事があります。
●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災、感電の原因となります。

■乾電池を充電しない

禁止

●乾電池は充電しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。

■放熱を妨げない

禁止

●本機の放熱を妨げると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。　次の点に気を付けてご使用ください。
・本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。
・本機を押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないでください。
・テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しないでください。
・本機を設置する場合は、壁から１０ｃｍ以上の間隔をおいてください。また放熱をよくするために、他の機器と　の間は少し離して置いてください。　ラックなどに入れるときは、機器の天面から１０ｃｍ以上、背面から１０ｃｍ以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。

■絶対、キャビネットははずさない、改造しない

分解禁止

●本機の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対に外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。
●本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■１００Ｖ以外の電圧で使用しない

●本機を使用できるのは日本国内のみです。
●表示された電源電圧(交流 100 ボルト)以外の電圧や船舶などの直流(DC)電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■水のかかるところに置かない

水場での使用禁止

●風呂場・シャワー室等では使用しないでください。　火災・感電の原因となります。　この機器に水が入ったり、ぬらさないでください。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

水濡れ禁止

●本機は屋内専用に設計されています。ぬらさない様にご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

■水の入った容器を置かない

●本機の上に過敏、植木蜂、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。　こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■中に物を入れない

●本機の通風孔等から金属類や燃えやすいものなどを差込んだり、落とし込んだりしないでください。　火災・感電の原因となります。　特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ぬれ手禁止

●ぬれた手で(電源)プラグを抜差ししないでください。感電の原因となることがあります。

■接触禁止

●雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

⚠注意

■設置上の注意

●ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所、強度の足りない台などに置かないでください。
　落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

■次のような場所に置かない

●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。　火災、感電の原因となることがあります。
●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。

■接続について

●本機をテレビやディオ/ビデオ機器等に接続する際には、各々の機器の取扱説明書を良く読み、電源を切り、説明書に従って接続してください。　また接続には指定のコードを使用してください。　指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因になることがあります。

■使用上の注意

●音量を上げすぎないようにご注意ください。　耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
●ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。　耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
●長時間音が歪んだ状態で使わないでください。アンプ、スピーカー等が発熱し、火災の原因となることがあります。
●本機に載ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。
●キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。磁気の影響で製品が使えなかったり、データが焼失することがあります。
●ディスクを使用する機器の場合、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。　ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。
●レーザーを使用している機器では、レーザー光源を覗き込まないでください。　レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

●お子様がディスクの挿入口に、手を入れない様にご注意ください。けがの原因になることがあります。

●電源を入れる前には、音量を最小にしてください。　突然大きな音がでて聴力障害などの原因になる場合があります。

■電源コード、電源プラグの注意

●電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災、感電の原因となることがあります。
●ぬれた手で電源プラグを抜差ししないでください。感電の原因となることがあります。
●電源プラグを抜く時は、電源コードを引張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
●電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。
●旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。　火災の原因となることがあります。
●移動させる時には、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードやスピーカーコードを外してから行なってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
●接続コードの配線された位置によっては、つまずいたり、ひっかかったりして落下や点灯など事故の原因となることがあります。テレビの上に置いてご使用になる際には特にご注意ください。

電源プラグをコンセントから抜いてください

■放置禁止

●窓を閉め切った自動車の中や直射日光があたる場所など以上に温度が高くなる場所に放置しないでください。
　火災の原因となることがあります。

■電池について

●電池をリモコンに挿入する場合、極性表示(プラス＋とマイナス－の向き)に注意し、表示通りに入れてください。
　間違えると電池の破裂、液もれにより火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

●指定以外の電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。　電池の破裂、液もれにより火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
●電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。　電池の破裂、液もれにより火災、けがの原因となることがあります。

●長期間使用しない時は、電池を取出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する事があります。
　もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよくふきとってから新しい電池を入れてください。
　また万一、もれた液が身体についた時は、水でよく洗い流してください。

■点検・工事について

●お手入の際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。　感電の原因となることがあります。
●使用環境にもよりますが、５年に一度程度の機器内部の清掃をおすすめします。もよりの販売店にご相談ください。　内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期前に行なうとより効果的です。なお清掃費用については販売店などにご相談ください。
●電源プラグにほこりがたまると自然発火(トラッキング現象)を起こす事がしられています。
　年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。
●シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。　塗装が剥げたり変形することがあります。

電源プラグをコンセントから抜いてください

●本機の背面には内部の熱を放熱している部分があり、移動する場合などには一旦電源を切り　十分な時間放置した後、本機が十分に冷えてから移動してください。　電源が入った状態または、電源を切った直後に本体背面を触ると火傷の原因となることがあります。

高温注意

■DVD／VCD／SVCD／CD／CD－Rプレーヤーに対する注意

1．本装置は、レーザーピックアップの働きにより信号を認識します。
また、レーザー漏れを防止する機構が組込まれていますが、お客様による改造やケースのオープンは不慮の事故が発生する場合がありますので絶対におやめ下さい。

2．本装置は、以下のロゴで表示されたディスクが再生できるように設計されています。

3．動作中に外部からの振動が伝わるとノイズが生じます。

4．常温下で動作させてください。　高湿度環境下での動作は湿気がレーザー・ピックアップ部に悪影響を与える場合がありますのでおやめ下さい。　湿度によりピックアップが濡れて動作しなくなった場合にはトレイからディスクを取出して、電源を入れたまま１時間程度放置して乾燥させてください。特に冬季で寒い環境に放置してあったプレイヤーを暖かい室内に持ち込んだ場合、レーザーピックアップ部が結露しやすいのでご注意下さい。

5．本機を移動したり、移動に伴う梱包の際には、必ずディスクに傷を付けない様にトレイからディスクを取出した後、ディスク・トレイを戻し電源をオフしてからＡＣコンセントを抜いてください。

6．傷は、柔らかい布を使用して注意しながら拭いてください。拭き取りは、ディスクの円周から外側に向かって行なってください。柔らかな布を使用しない場合、新たな傷がついて、トラック飛び、ノイズ、音の歪が生ずる場合があります。

7．長時間使用しない時には、本機のコンセントを抜いてください。

8．ＡＭラジオの受信に悪影響を与える場合がありますので、ＡＭラジオのループアンテナをディスプレイの近くに置かないでください。

9．テレビ放送の電波状況により、本機の電源を入れた状態（あるいは本機の電源が入っていない状態）でテレビ放送を見ると画面にしま模様が現れたりする場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。この様な場合または長時間テレビ放送をご覧になる場合には本機のコンセントを抜いてください。（アンテナブースターのご利用をお止めになることで改善する場合もあります。）

■著作権について
デイスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル(有償無償を問わず)することは、法律により禁止されています。

目　次

安全上の注意 —— 2
目　次 —— 9
一般的な情報 —— 10
接続の前に —— 11
フロントパネル —— 12
リアパネル —— 13
リモコン —— 14
正しい接続のために / ステレオ・テレビへの接続 —— 15
ディスクの再生 —— 18
リモコン操作 —— 19
システムセットアップ —— 26
MP3CD 再生機能について —— 31
故障かなと思ったときは —— 32
主な仕様 —— 33

一般的な情報

◆本装置では以下のディスクが再生できます。

- 4.7GB片面DVD
- 8.5GB片面DVD
- 9.4GB両面DVD
- 17GB両面DVD
- Video CD Version 1.0/1.1(PBC無)
- Video CD Version 2.0 (PBC付)ＶＤ
- Video CD Version 3.0
- 音楽CD
- CDIムービー (CDI-FMV)
- CD-R、CD-RW、DVD-Rに記録された各フォーマット*1
- MP3CD（ISO9660フォーマット）*2

ディスク	DVD	ビデオCD	オーディオCD	CD-R
ロゴ	DVD VIDEO	VIDEO CD	disc DIGITAL AUDIO	
コンテンツ	音声+映像	音声+映像	音声	音声+映像
記録方式	デジタル/MPEG2	デジタル/MPEG1	デジタル	デジタル
容　量 再生時間	片面 1層 4.7G 約2時間 片面 2層 9.4G 約4.5時間 両面 1層 8.5G 約4時間 両面 2層 17G 約8時間	650MB 74分	650MB 74分	650MB
ディスクサイズ	12/8cm	12cm	12/8cm	12/8cm

*1 全ての書込ソフト、書込ドライブでの再生を保証するものではありません。
*2 MP3CDは、ISO9660フォーマットで作成されたCDのみ再生可能です。Joliet エクステンション（Windowsの長い名前）は認識しますが、表示はDOSフォーマット（英数８文字）になります。又、Macintoshフォーマット(HFS)で作成されたCDは、認識出来ません。又、MP3データは、拡張子が.mp3である必要があります。(.mpgなどは認識できません。)

接続の前に

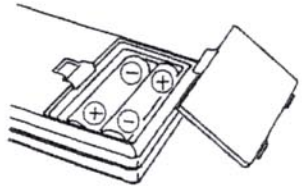
◆梱包を解かれる際に

以下の付属品が揃っているかご確認下さい。

1．オーディオ／ビデオケーブル　x　1
2．リモコン　x　1
3．リモコン用乾電池　x　2
4．取扱説明書

◆リモコンに電池を入れます。

1．乾電池カバーを外します。
2．単三型乾電池２本を(+),(-)の極性を良く見て正しく挿入します。



◆リモコンに関する一般情報

・リモコンにより、お好きな場所からDVDを操作する事が出来ます。操作されるときは、本機のリモコン受光部にリモコンを向けて下さい。
・本機を操作する為に必要な殆どのキーは、リモコンにのみ存在します。良くこの説明書をお読みになり、リモコンの操作に習熟されることをお勧めいたします。

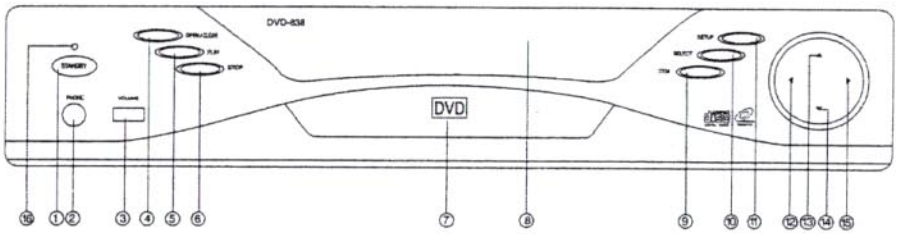
リモコン操作時の注意を以下に示します。

・リモコンはプレーヤーのセンサーに向けて下さい。
・送受信器間に妨げとなる物を置かない事。
・リモコンの到達範囲が非常に狭くなった場合、乾電池を交換して下さい。

環境保護のために！

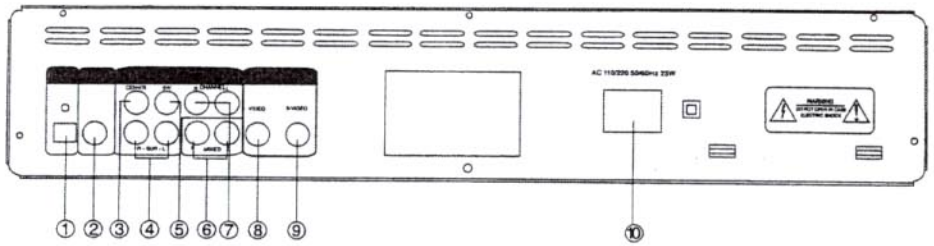
使用済み電池、蓄電池は勝手に廃棄せず、使用済み電池の回収場所にお持ち下さい。
お近くの関係機関にお問合せ下さい。

フロントパネル



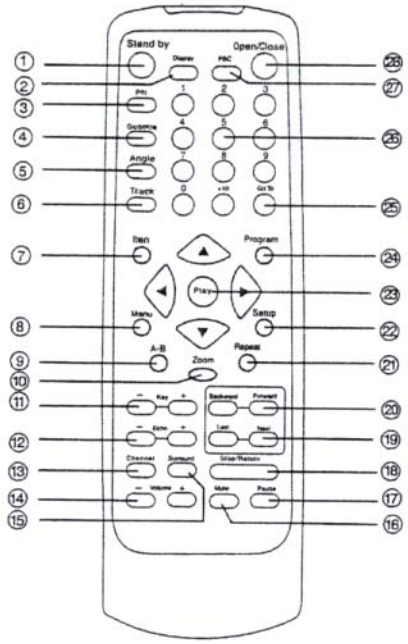
① パワー　スタンバイ/オン
② ヘッドフォン・ジャック
③ イヤーフォン・ボリューム
④ ディスク　オープン/クローズ
⑤ プレイ
⑥ ストップ
⑦ ディスクトレイ
⑧ VFD ディスプレイ
⑨ アイテム・ボタン
⑩ セレクト・ボタン
⑪ セットアップ・ボタン
⑫ 左へ
⑬ 上へ
⑭ 下へ
⑮ 右へ
⑯ パワーインジケータ

リアパネル



① 光デジタル・オーディオ出力
② 同軸デジタル・オーディオ出力
③ センターチャンネルオーディオ出力（5.1CH 用）
④ 後左右チャンネル・サラウンドオーディオ出力(5.1CH用)
⑤ サブウーファーチャンネルオーディオ出力（5.1CH 用）
⑥ ダウンミックス・ステレオ・オーディオ出力
⑦ 前左右チャンネル・オーディオ出力（5.1CH 用）
⑧ ビデオ出力
⑨ S-ビデオ出力
⑩ AC ケーブル接続ソケット

リモコン



① パワーオン / スタンバイ - p. 18
② スクリーンディスプレイ - p. 19
③ PAL/NTSC - p. 20
④ サブタイトル（字幕） - p. 21
⑤ アングル - p. 21
⑥ 音声トラック - p. 21
⑦ アイテム - p. 21
⑧ メニュー - p. 22
⑨ A-B（区間リピート） - p. 24
⑩ ズーム - p. 24
⑪ キーコントロール* - p. 24
⑫ エコー調整* - p. 24
⑬ チャンネル - p. 24
音量調整 - p. 25
⑮ サラウンド* - p. 24
⑯ ミュート（消音） - p. 25
⑰ ポーズ - p. 25
⑱ ストップ - p. 25
⑲ 前 / 次 - p. 18
⑳ 巻き戻し / 早送り - p. 25
㉑ 繰り返し - p. 23
㉒ セットアップ - p. 26
㉓ 再生 / 選択 / 決定 - p. 18
㉔ プログラム
㉕ GoTo（時間選択） - p. 22
㉖ １０キー - p. 22
㉗ PBC ボタン - p. 22
㉘ ディスクトレイ開閉 - p. 18

*カラオケ機能は、この機種では機能しません。

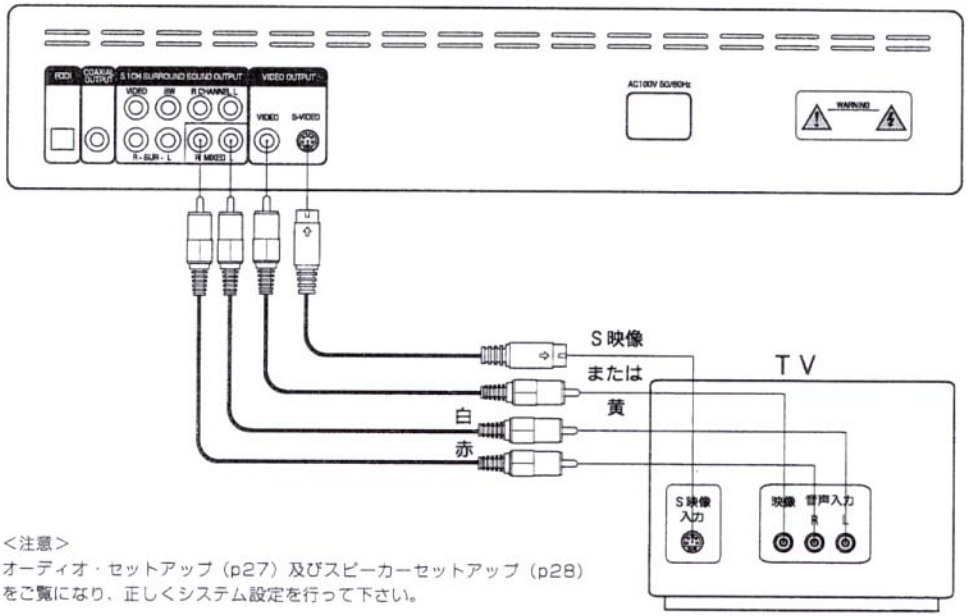
正しい接続のために

・配線を行なう前に、電源コードがコンセントに接続されていない事を確認してください。
・接続する装置の取扱説明書もよくお読みください。
・コードを接続する際には、コネクターの色とプラグの色を一致させてください。
・全ての配線が終了した後、ＡＣ電源プラグをコンセントに接続してください。

ステレオ・テレビへの接続

・音声・映像の接続には、同じ色のコネクターとプラグを使用します。
黄プラグ – 映像信号ジャック(黄色)に接続
白プラグ – 音声信号左出力(白)に接続
赤プラグ – 音声信号右出力(赤)に接続
・S映像入力が利用可能な場合は、S映像コードをS映像ジャックに接続します。
（この場合黄色の映像ケーブルは使用しません。）
・S映像入出力は、カラー信号と輝度信号(Y)を分離して伝送する方法で、より鮮明な画像が得られます。
・S映像端子を備えたＴＶとプレーヤーをS映像コードで接続する事により最良の画質を得る事が可能です。

DVDプレイヤー

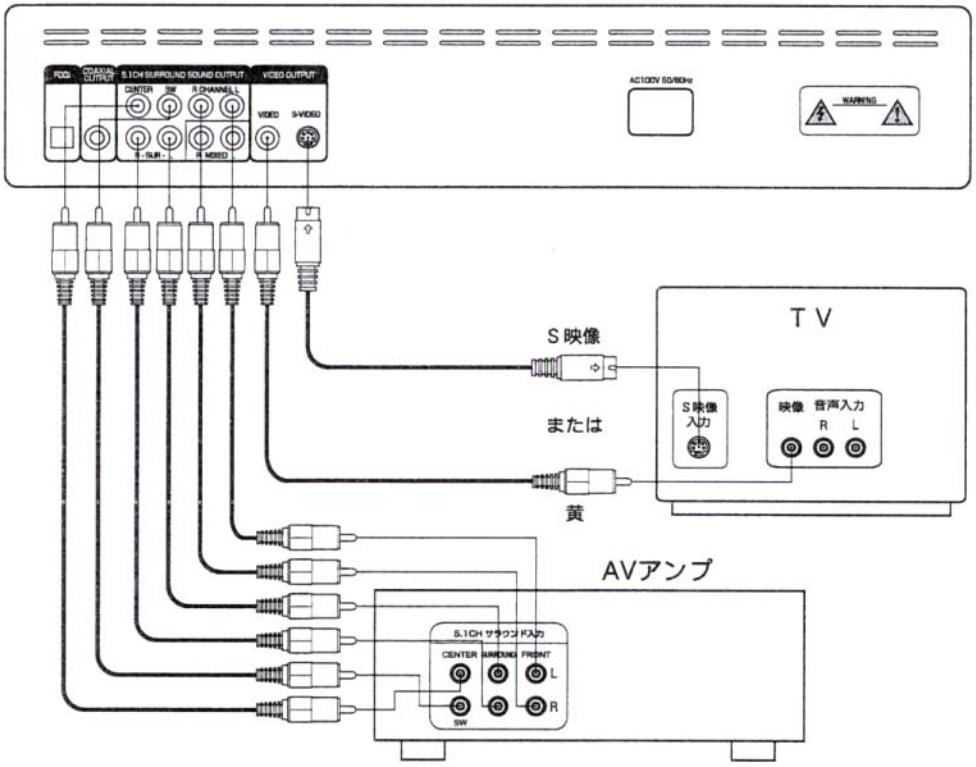


<注意>
オーディオ・セットアップ（p27）及びスピーカーセットアップ（p28）をご覧になり、正しくシステム設定を行って下さい。

オーディオアンプへの接続

5.1CH サラウンド入力対応アンプとの接続

・アンプまたは、オーディオ装置、ＴＶへの接続の際には、コードとジャックの色を合わせてください。
・詳しくはアンプの取扱説明書をお読み下さい。

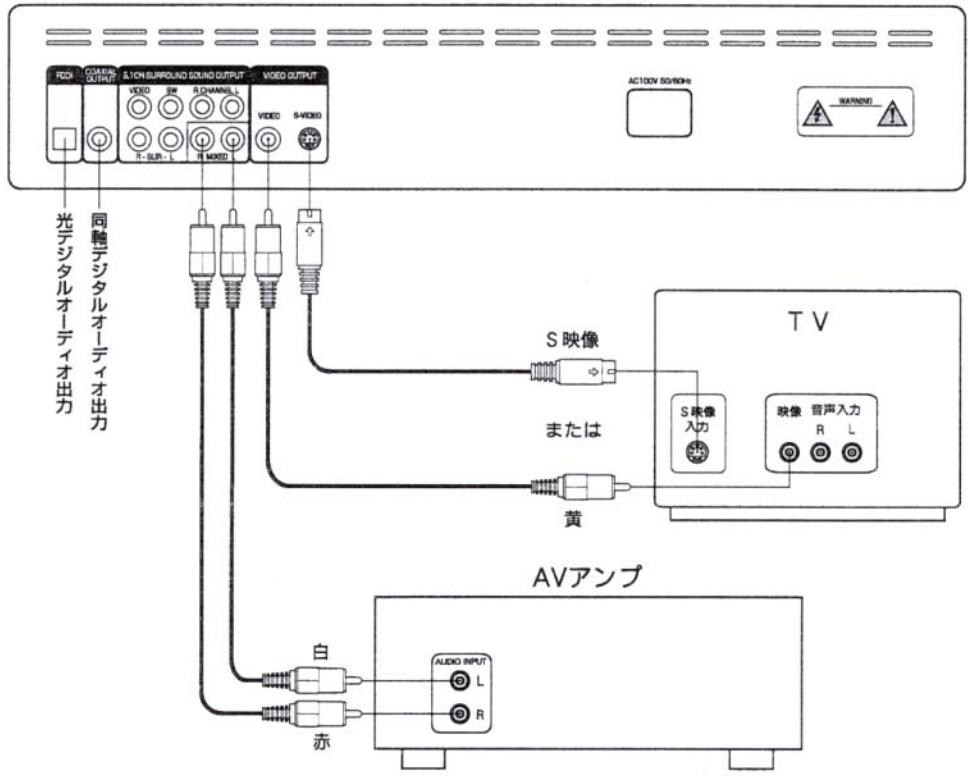


<注意>
オーディオ・セットアップ（p27）及びスピーカーセットアップ（p28）をご覧になり、正しくシステム設定を行って下さい。

オーディオアンプへの接続（続き）

ステレオアンプとの接続

・アンプまたは、オーディオ装置、ＴＶへの接続の際には、コードとジャックの色を合わせてください。
・お使いのアンプが、デジタルオーディオ入力対応の機種であればDVDプレイヤーのデジタルオーディオ出力（光又は同軸）との接続をお勧めいたします。雑音の少ないよりクリアーな音質をお楽しみ頂けます。



<注意>
オーディオ・セットアップ（p27）及びスピーカーセットアップ（p28）をご覧になり、正しくシステム設定を行って下さい。

ディスクの再生

全ての接続が完了した後、電源コードをコンセントに接続して、電源スイッチをオンします。
ディスクを再生する前に、以下の準備をします。
・ＴＶの電源をオンして、テレビの入力を"ビデオ"に切り替えます。
(接続方法により異なりますので適宜選択して下さい)
・オーディオ・アンプに接続している場合には、アンプの電源をオンにします。

再生の基本操作

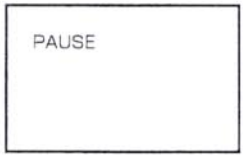
1．リモコンのStandbyを押して電源を入れます。(リモコンキー①)
2．本体のインジケータが赤から緑に変わり、スタート画面（DVDロゴ）が表示されます。
3．Open/Closeキー(㉘)を押してディスクトレイを引き出し、再生するディスクをトレイの溝に合わせて置きます。
4．再生/選択ボタン(㉓)を押すとトレイが閉じて再生が始まります。

基本操作キーの機能について

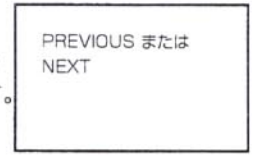
TV画面表示

1．再生キー(Play㉓)
・再生開始

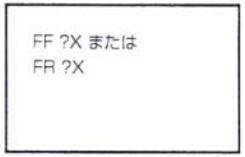
2．ポーズ（Pause⑰）
・再生一時停止・・・再度押すことで再生開始



3．前/次（Last/Next⑲）
・前の曲あるいは次の曲を演奏（CDDA, MP3CD, VCD)
・前のCHAPTERあるいは次のCHAPTERを再生します。(DVD)

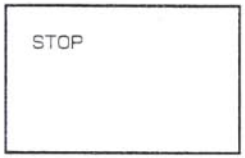


4．早送り/早戻し（Forward/Backward⑳）
・Forwardキーを押す度にFF1X、FF2X、FF3X、FF4X、通常再生の順に再生速度が変化します。
・Backwardキーを押す度にFR1X、FR2X、FR3X、FR4X、通常再生の順に再生速度が変化します。
・DVDディスクの場合は、各々2X、4X、6X、8Xと表示されます。



ディスクの再生（つづき）/ リモコン操作

5．停止(Stop⑱)
・再生を停止します。

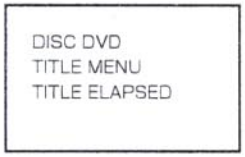


その他の操作キーの機能について

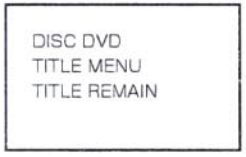
1．スクリーンディスプレイ（リモコンキーDisplay②）
・ディスク再生中にこのキーを押すことで現在の再生状態を表示します。

DVD再生の時
・1回押し
現在のディスクフォーマットとタイトル、チャプターを表示します。

・2回押し
上記に加えて再生経過時間を表示します。

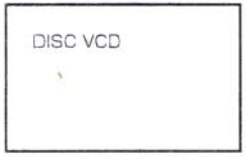


・3回押し
経過時間に変えて再生残り時間を表示します。

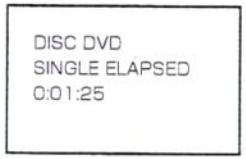


・再度このボタンを押すことで全ての表示が消えます。

VCD再生の時
・1回押し
現在のディスクフォーマットを表示します。

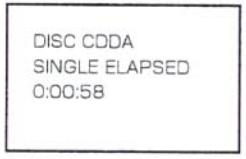


・2回押し
上記に加えて再生経過時間を表示します。



・3回押し
経過時間に変えて再生残り時間を表示します。

オーディオCD再生の時
・2回押し
ディスクフォーマットと再生経過時間を表示します。



・3回押し
同様に再生残り時間を表示します。・・・もう1回押すと表示が消えます。

MP3CD再生の時
・1回押し
ディスクフォーマットを表示します。

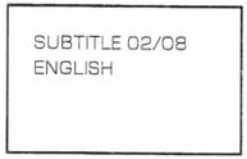
・2回押し
再生経過時間を表示します。

2．映像出力フォーマットの選択（リモコンキーP/N③）

・映像出力のフォーマットがこのキーを押す毎に
NTSC - PAL - AUTO - NTSCのように切り替ります。
・通常の使用では変更する必要がありません。
・何かの理由で表示が正常に表示されない場合日本の規格であるNTSCにセットして下さい。(PAL出力が初期値に設定された中国語圏向けVCD等。)

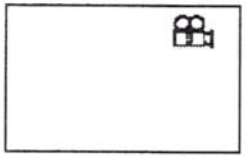
3．サブタイトル（字幕）の選択（リモコンキーSubtitle④）

DVD再生中にこのキーを押すとソフトに字幕が記録されていれば画面に字幕を表示します。ソフト側の対応で最高32言語まで切替可能です。ソフトによってはMenu画面から字幕を指定できるソフトもあります。



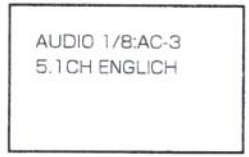
4．アングル切替（リモコンキーAngle⑤）

DVDソフトが対応しており尚かつ対応シーン再生中にこのキーを押すと同じアクションを違った視点で再生することが出来ます。画面にはどのアングルを再生しているかが表示されます。



5．音声トラック切替（リモコンキーTrack⑥）

DVDソフトが対応していればこのキーを押すことで音声のトラックを切り替えることが出来ます。ソフト側の対応で最高8トラックまで切替可能です。ソフトによってはMenu画面から音声トラックを指定できるソフトもあります。



6．アイテム・キー（リモコンキーItem⑦）

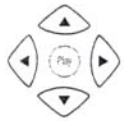
VCD再生中にこのキーを押すと最初のトラックに戻り再生を始めます。中国でポピュラーなSVCDやDVCDフォーマットで有効に使える機能かもしれませんが日本国内ではあまり利用価値が無いかも知れません。
(SVCD及びDVCDソフトが手元に無い為弊社では未確認です。)
DVDディスク再生時PBC OFFモードでこのキーが有効となります。(p23参照)

7．メニュー画面の表示（リモコンキー Menu⑧）

DVD ソフトが対応していれば、ディスク挿入後に
このボタンを押すとメニュー画面にアクセス出来ます。
メニュー画面からソフトの様々なオプションを選択
することが出来ます。

8．方向キー

メニュー画面の中で（例えばチャプター選択画面で）
あるいは後述のプレイヤーセットアップ画面の中で
上下左右に選択項目の移動をするために使用します。
決定は方向キーの真ん中の Play キーを押します。



9．数字キー（10 キー）の操作

VCD あるいは CDDA（オーディオ CD）において任意の数字キーを押すこと
によってその数字のトラックのコンテンツを再生します。（Play キーを押す
必要はありません。）11 番目以上のコンテンツは +10 キーを押してから続く
数字キーを押して選択します。又、後述の機能操作時に数字の入力が必要な
場合にも使用します。

10．時間による選択（リモコンキー Goto㉕）

DVD ディスクの場合、このキーを押してから数字キー
で任意の経過時間を数字キーで入力し、再生キー(Play）を押すと
入力された経過時間から再生を開始します。

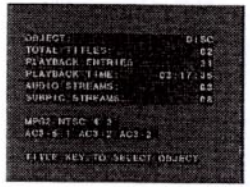
11．PBC ボタン（リモコンキー PBC㉗）

Playback Control の略ですが、このキーを押すと PBC 機能が一時的に OFF
になります。

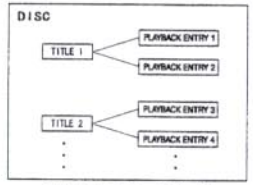
VCD カラオケの場合
PBC ON の状態でディスクを挿入すると曲一覧メニューで停止して曲の選択待
ちモードとなり、曲が選択され演奏が終了すると再度選択待ちモードに戻ります。
PBC OFF の場合は頭から連続演奏となります。

リモコン操作(つづき)

DVD ディスクの場合
このキーを押すと DISC SEARCHING... と表示され
その後ディスク内のコンテンツ状況が右図のように
表示されます。



OBJECT:
DISC と表示されている時はディスク全体の内容が表示
されています。ITEM キーを押すことで各 TITLE 毎の表
示に切替ります。
TOTAL TITLES:
右イメージ図で示す TITLE 数を表示します。
PLAYABACK ENTRYS:
右図で示す ENTRY 数を表示します。リモコンの 10 キー
で任意の ENTRY ナンバーを入力することで該当のコンテ
ンツをダイレクトに再生可能です。
PLAYBACK TIME:
DISC 全体あるいは選択している TITLE の再生時間を表示
します。



DVD コンテンツ・イメージ

AUDIO STREAM:
記録されている音声ストリーム（トラック）の数を表示します。
SUBPIC STREAM:
記録されている字幕トラックの数を表示します。

＊ TITLE KEY TO SELECT OBJECT と表示されますが有効
なキーは、10 キー及び ITEM キーのみです。

12．区間リピート（リモコンキー A-B⑨）

リピートしたい位置をこのボタンを使用して設定します。
①1 度目の押下で、開始位置 "A" を指定します。
②2 度目の押下で、位置 "B" を指定します。
DVD プレーヤーは、機能を OFF するまで、選択された
"A" から "B" に向かって再生し、また "A" に戻ります。
③3 度目の押下でリピート機能は OFF します。

13．繰り返し再生（リモコンキー Repeat㉑）

このキーを押すことで繰り返し再生をします。
DVD ディスクの場合
再生中に任意のタイミングでこのキーを押す毎に、CHAPTER REPEAT ON
-> TITLE REPEAT ON -> REPEAT OFF とモードが切り替わります。
VCD(PBC は OFF の状態のみ有効）または CDDA の場合
再生中に任意のタイミングでこのキーを押す毎に、REP-ONE（1 曲繰り返し）
-> REP-ALL（全て繰り返し）-> REPEAT OFF とモードが切り替わります。

１４．ズーム（リモコンキー Zoom⑩）

このキーを押すと２倍ズーム又は４倍ズームの拡大表示再生が出来ます。
このキーを押す毎に、ZOOM x 2 -> ZOOM x 4 -> ZOOM OFF
とモードが切り替わります。ズーム中に方向キーを押すことで
拡大表示範囲の移動が出来ます。

１５．エコー調整（リモコンキー Echo⑫）、キーコントロール（リモコンキー Echo⑪）
サラウンド（リモコンキー Sorround⑮）

上記３つのキーは、カラオケ機能付きモデルでのみ有効な機能で、DVD-838
では無効です。

１６．音声チャンネル選択（リモコンキー Channel⑬）

VCD ディスク再生時に音声チャンネルを明示的に選択できます。
キーを押す毎に、

LEFT VOCAL　SVCD などで有効と思われますが、日本で販売されているソフトでは無効です。
RIGHT VOCAL 同上
MONO LEFT　左チャンネルに記録されている音声データのみを左右のスピーカーから再生します。（VCD 音多対応ディスクで、歌手の声を消して純カラで楽しむ時に選択します。）
MONO RIGHT　右チャンネルに記録されている音声データのみを左右のスピーカーから再生します。
STEREO　通常の再生モードです。

とモードが切り替わります。

１７．停止キー（リモコンキー Stop⑱）

再生を停止したいときにこのキーを押します。

１８．音量調整（リモコンキー Volume⑭）

本機からのオーディオ出力レベルの調整が＋または - キーを押すことで可能です。
但し、DVD ディスクで、デジタルオーディオストリーム（光又は同軸）の出力
レベルは変更出来ません。（VCD または MP3CD ディスクではデジタルアウトの
出力レベルも変更可能です。）

１９．消音（リモコンキー Mute⑯）

一時的に再生音量をゼロにしたいときに押します。もう一度押すと消音前の音量に
戻ります。

２０．一時停止（リモコンキー Pause⑰）

ディスク再生を一時的に停止したいときに押します。もう一度押すと停止したところ
から再生が始まります。

２１．停止（リモコンキー Stop⑱））

ディスク再生を停止したいときに押します。

２２．早送り / 早戻し（リモコンキー Forward / Backword⑳）

Forward
ディスク再生を早送りしたいときに押します。
・押す毎に、FWD1X -> FWD2X-> FWD3X -> FWD4X と早送り速度が変化します。（VCD）CDDA では、1X、2X は実用的ですが 3X 以上は飛ばし再生となります。
・押す毎に、FWD2X -> FWD4X-> FWD6X -> FWD8X と早送り速度が変化します。（DVD）

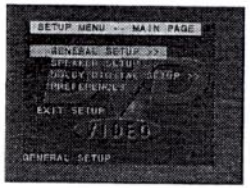
Backword
ディスク再生を早戻ししたいときに押します。
・押す毎に、BWD1X -> BWD2X-> BWD3X -> BWD4X と早戻し速度が変化します。（VCD）
・押す毎に、BWD2X -> BWD4X-> BWD6X -> BWD8X -> Play と早戻し速度が変化します。（DVD）

システム・セットアップ

ディスクの再生中又は停止中の状態に関わらずリモコンキーのSetup ㉒を押すと再生が一時停止してセットアップ・モードに入ります。セットアップモードでは、プレイヤーの基本的な動作（主にDVD）を決定する様々な初期設定を行います。設定項目を選択後の決定は方向キーの真ん中のPlay ㉓キーを押します。（ディスク挿入時は、初期設定にはアクセス出来ません。又、設定された情報は電源を切っても保持されます。）

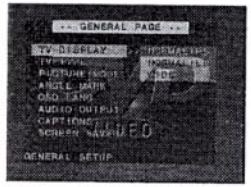
1．セットアップ・メインメニュー

右図の様に表示されますので変更を希望する項目（一般、スピーカ、ドルビーデジタル、初期設定）を方向キーで選択し、決定キー（Play）を押して下さい。セットアップを中止するときは、EXIT SETUPを選択し決定キーを押して下さい。



2．一般設定（GENERAL SETUP）

2.1 ディスプレイモード(TV DISPLAY)



NORMAL/PS（パンスキャン）　4:3画角のTV画面一杯に再生画面を表示します。ソフト側が16:9、2.35:1などの横長で映像が記録されている場合、両端が切れて表示されます。

NORMAL/LB（レターボックス）　4:3画角のTV画面で上下を何も表示しない領域として再生します。16:9、2.35:1などの横長の映像も全て表示されますが映像の大きさがPSよりは小さくなります。

WIDE　16:9のワイドTVをお持ちなら迷わこのモードを選択して下さい。2.35:1のソフト再生時は、上下が表示のない領域となります。

2.2TV画像フォーマット選択（TV TYPE）

MULTI　NTSC又はPAL方式いずれのTVを接続しても正しい映像信号が得られます。

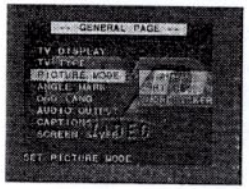
NTSC　日本のほか米国、韓国などで採用されている映像フォーマットです。

PAL　欧州各国、東南アジアで採用されている映像フォーマットです。

システム・セットアップ（つづき）

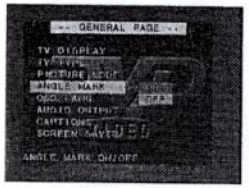
2.3 ピクチャーモード選択

画像表示モードをAUTO、HI RES、NONFLICKERから選択可能です。通常は、AUTO（初期値）に設定して下さい。（弊社での確認では両モード間の顕著な機能差は認められませんでした。）



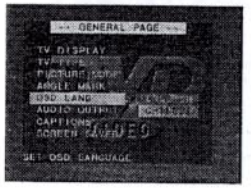
2.4 アングルマーク表示切替（ANGLE MARK）

DVDディスクがマルチアングル対応ソフトでマルチアングル映像を再生中にマルチアングル・モードであることを知らせるマークを表示するかしないかを選択します。



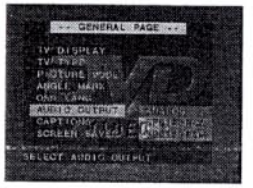
2.5 オンスクリーンディスプレイ言語切替（OSD LANG）

このセットアップ画面などで使用する言語を選択します。ENGLISH又はCHINESEが選択できます。



2.6 オーディオアウトプット・セットアップ

オーディオ信号の出力手段を選択します。



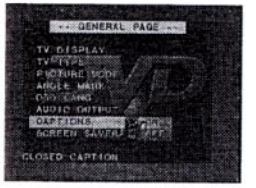
ANALOG　アナログ5.1CH（及びDOWN MIX）出力端子のみにオーディオ信号が出ます。

SPDIF/RAW　デジタルオーディオ出力端子（光及び同軸）にオーディオ信号を出力します。Dolby5.1CH又はDTS対応ソフトの場合に選択して下さい。

SPDIF/PCM　同上。リニアPCMオーディオ対応ソフトの場合選択して下さい。

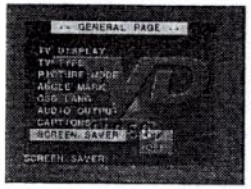
2.7 クローズドキャプション設定（CAPTIONS）

ビデオコンポジット出力にクローズドキャプション信号も載せたい場合にONを選択します。対応しているソフトと専用のデコーダが必要となります。



2.8TV スクリーンセイバー (SCREEN SAVER)

画面の焼き付きを防止するために本機の電源が ON で操作が暫く無い状態の時にスクリーンセーバーを起動するかしないかを選択します。



3 スピーカーセットアップ

3.1 ダウンミックス出力設定

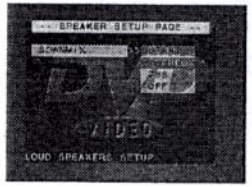
一般設定のオーディオアウトプット設定でアナログを選択している時にアナログ信号の種別を変更します。

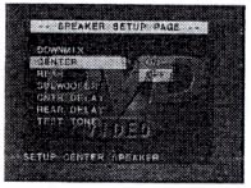
LT/RT: ドルビーデジタルオーディオトラックを適切に LCH、RCH にダウンミックスします。(Prologic downmix mode)

STEREO: ダウンミックス出力からステレオ信号が出力されます。(ドルビーデジタル音声ストリームが選択された場合、各トラックを機械的に左右に振り分けます。)

VSS: ダウンミックス出力からバーチャルサラウンド信号が出力されます。(殆ど効果がありません。)

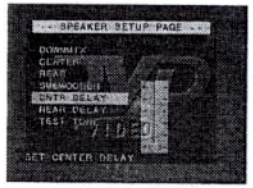
OFF: ダウンミックス出力は、無信号となります。5.1CH アナログ出力をご利用時選択して下さい。





3.2 センター・リア・サブウーファー ON/OFF 切替

5.1CH アナログ出力を選択時に各々のスピーカーの ON/OFF を設定します。

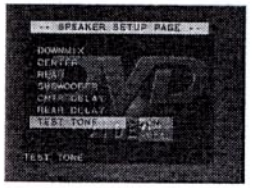


3.3 センター・リアディレイ設定

各々アナログ信号の遅延時間を設定します。

3.4 テスト・トーン(TEST TONE)

5.1CH の各スピーカーの動作確認用にホワイトノイズトーンを出力します。



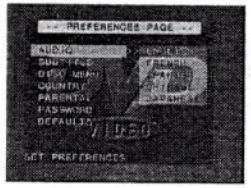
4 ドルビーデジタル・セットアップ

リモコンで各項目が選択できますが、当該項目の機能は有効ではありません。初期値のままご使用下さい。

5 初期設定(PREFERENCES)

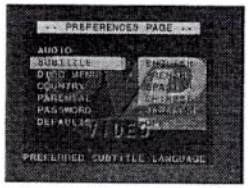
5.1 オーディオランゲージ設定(AUDIO LANG)

ディスクを挿入した時点で選択されるデフォルトオーディオトラックを選択します。JAPANESE を選択後日本語音声が記録されているディスクを再生すると日本語音声トラックが選ばれます。但し、ソフトのオーサリング(制作方法)によってはプレイヤーの設定を無視する場合もあります。



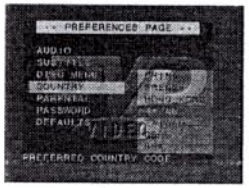
5.2 字幕言語設定(SUBTITLE)

DVD ディスクが複数言語の字幕対応している場合に初期値として表示される字幕を選択します。



5.3 メニュー言語設定(DISC MENU)

ディスクを挿入した時点で選択されるデフォルトメニュー言語を選択します。

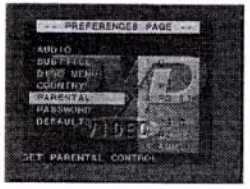


5.4 各国別年齢制限レベル設定(COUNTRY)

各国で異なる年齢別視聴制限レベルの設定を行います。

5.5 ペアレンタル・ロック設定 (PARENTAL)

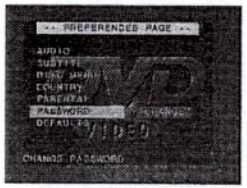
青少年に対する暴力や性的な表現の露出を防止するために欧米のソフトは、その程度に応じてランクが設定されているものがあります。本機側は、それらのソフトを再生するときにあるレベル以上のソフトはパスワードを入力しない限り再生出来なくすることが可能です。(日本のソフトには設定されておりません。)日本では、あまり有効に利用できないかもしれませんが、何かの理由でペアレンタル・ロックの機能によりパスワード入力を求められた時は、工場初期値の 3308 を 10 キー(数字キー)で入力して下さい。



システム・セットアップ(つづき)

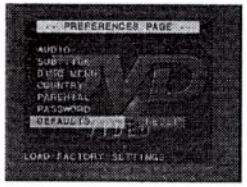
5.6 パスワード変更(PASSWORD)

ペアレンタル・ロック解除に用いるパスワードを変更します。初期値は、3308 です。



5.7 初期値設定 (DEFAULTS)

セットアップモードで変更可能なパラメータを工場出荷の状態にリセットします。



ヘッドフォンのご利用について

・本機全面のヘッドフォン端子にてステレオタイプのヘッドフォンをご利用いただけます。（インピーダンス 32 オーム）
・ヘッドフォン端子は、セットアップメニューでデジタルオーディオ出力を選択頂いている場合はご利用出来ません。必ず、ANALOG 出力を選択の上ご利用下さい。

MP3CD 再生機能について

MP3 フォーマットについて

動画音声圧縮技術の標準規格である MPEG(Moving Picture Experts Group)規格にて定められた音声の圧縮フォーマット MPEG オーディオレイヤー 3 の通称です。クオリティを大きく損なうことなくデジタル音声データを圧縮できるためインターネットの世界で幅広く普及し、携帯型プレイヤーも数多く登場しております。変換時のサンプリングレートと帯域幅で変化しますが、標準的な 44.1kHz, 128kbps であれば、およそ元データの１０分の１に圧縮が可能です。例えば、５分の曲は CD の楽曲をそのままデジタルデータで保存すると（WAVE あるいは AIFF フォーマット）約 50MB になりますが MP3 で保存すれば約 5MB になり、通常の聴取環境では、そのクオリティの差は感じられません。

本機で再生可能な MP3 CD フォーマットについて

ISO9660 フォーマットで作成された CD のみ再生可能です。Joliet エクステンション（Windows の長い名前）は認識しますが、表示は DOS フォーマットになります。（英数８文字、但しナンバリングを示す N1 ～が付加されます。）又、漢字（2byte code）を含んだファイル及びディレクトリーは認識できず無視されます。MP3 データは、拡張子が .mp3 である必要があります。（.mpg などは認識できません。）

再生方法

・MP3 ディスクをトレイに挿入するとプレイヤーはディスクを認識し、ＣＤ内のディレクトリー名（ディレクトリーが無ければファイル名）を表示します。ディレクトリー名には先頭に＋記号が付加されます。（リモコン Program キーで上の階層が表示されます。）
・再生したいディレクトリーを方向キーで選択し決定（リモコンの再生キー）するとディレクトリー内の曲名一覧が表示され、先頭の曲が選択状態でコマンド入力待ちとなります。
・任意の曲を方向キーで選択後、再生キーを押すと連続演奏モードで再生が始まります。

その他の注意事項

・ID3 タグには対応しません。
・Macintosh フォーマット(HFS)で作成された CD は、認識出来ません。
・サブディレクトリーもサポートしますが、ディレクトリーの階層構造は表示されません。全てのディレクトリーを１画面で表示しきれない場合は、当該画面での最終ディレクトリを選択後方向キーの進むで次ページを表示させて下さい。
・再生を始めると連続演奏モードとなります。(プログラム再生は出来ません)
・再生中に Setup 操作を行なうと正しく再生されなくなる場合があります。
・エンコーディングフォーマットによってはヘッダーを探し続けて停止している様な状態に陥る場合があります。その場合には、一旦電源を切って(コンセントを抜き)再投入して下さい。

故障かなと思ったときは

もしも、故障かなと思ったら先ず、下記の事項をご確認下さい。

症状	処置
音がしない音が歪む	・電源コードがコンセントに正しく接続されているか確認して下さい。 ・ＴＶやＡＶ機器が正しくセットされているか確認して下さい。 ・ＴＶやアンプが正常に動作しているか確認して下さい。 ・ヘッドホンを使用している場合：ヘッドホンは正しく接続されていますか？ボリュームは、適切な音量に合わせられていますか？
画像が出ない	・装置が正しく接続されているか確認して下さい。 ・ＴＶがビデオ入力に切替えられているか確認して下さい。 ・ＴＶが正常動作しているか確認して下さい。 ・ＴＶシステム設定が、ＮＴＳＣになっているか確認して下さい。
画像が乱れる	・ディスクが著しいダメージを受けていないか確認して下さい。 ・ディスクが汚れている場合には、クリーニングを行なった後再度再生してみて下さい。
再生しない	・ディスクのラベル面を上にしてトレイに乗せているか確認して下さい。 ・ディスクが汚れている場合には、クリーニングして下さい。 ・湿ったディスクの再生や、プレーヤーの結露は、プレーヤーに悪影響を及ぼしますので、乾燥した場所に１、２時間放置して完全に乾燥させた後、再度再生してみて下さい。
リモコン操作が出来ない	・電池が正しい極性で実装されているか確認して下さい。 ・電池が消耗していないか確認して下さい。 もしも消耗していたならば、交換して下さい。 ・リモコンが受光部に正しく向けられているか確認してください。 ・プレーヤーとリモコンの間に障害物があれば取除いてください。
サラウンドにならない	・使用しているステレオ・システムに一致したスピーカー・システムを選択していますか?
4:3(16:9)画像にならない	・セットアップモードのディスプレイセットアップの設定をご確認下さい。

注意：雷、静電気等、外部からの影響により正常に動作しない場合があります。この様な時には、一旦電源スイッチをON/OFFするか、電源コードを一旦抜いてから再度差込む事により正常な動作に戻ります。

＜どうしても故障と思われる症状が改善しない場合、お名前、本機の製造番号、症状を明記の上support@dvdnow.co.jpまでご連絡下さい。保証規定に関しては弊社ホームページwww.dvdnow.co.jpをご覧下さい。＞

主な仕様

再生可能ディスク:	DVD, VCD1.0/1.1/2.0/3.0, SVCD, CD (Audio), CDI-FMV, MP3CD (ISO9660) CD-R、CD-RW 又は DVD-R に記録された各フォーマット	
映像方式:	MPEG-1, MPEG-2	
音声方式:	MPEG-1 LAYER1/2, STANDARD LPCM, DOLBY DIGITAL(AC3), MPEG-2	
出力信号:	映　像	1.0v p-p
	音　声	5.1CH 0.5v p-p, Down Mix 2v p-p
出力コネクター:	映像出力	コンポジット, S-映像　(NTSC / PAL)
	音声出力	同軸＆光デジタル音声
		5.1CH サラウンドアナログオーディオ
		Down Mix 2 チャンネル・ライン・アウト
		ヘッドホン端子(レベル可変)
電源:	100V, 50Hz/60Hz	
消費電力:	25 W	
周波数特性:	CD	4Hz ～ 20kHz
	DVD	4Hz ～ 22kHz(48k Sampling)
		4Hz ～ 44kHz(96k Sampling)
S／N比:	９０ｄＢ以上	
高調波歪率:	0.003%以下	
寸法:	幅４３０ｘ奥行３２０ｘ高９０mm	
付属品:	RCA ケーブル x １, リモコン x 1, 単三乾電池 x 2	

注意：本機の仕様、外観及び本取説の内容等は改良のため予告なく変更する事があります。

＊本書記載の企業名、製品名、ロゴは一般に各社の商標又は登録商標です。

v2.0a